

要保管

NEW キーストック ハシタイ

I 暗証番号設定の方法

解錠番号は「0・0・0・0」にセットした状態でパックしておりますので、そこから希望の番号に設定を始めます。

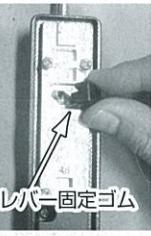
1 解錠番号を合わせて下さい。スライドスイッチを右に動かしながらシャックルを引き上げます。



2 収納部を開けて下さい。



3 本体内側にある「レバー固定ゴム」を外して下さい。
※固定ゴムは無くさない様十分に管理して下さい。



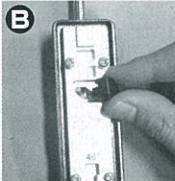
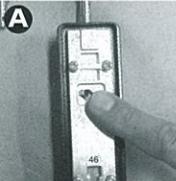
4 シャックルを引き上げた状態で「暗証番号可変レバー」を「右下」の位置まで動かして下さい。
※この時、シャックルが引き上げられていないと暗証番号可変レバーは動きませんのでご注意下さい。



5 この状態で希望の暗証番号に設定して下さい。
※設定した番号は必ず控えて忘れないよう注意して下さい。



6 番号を設定しましたら、画像Aの様に、「暗証番号可変レバー」を「左上」の位置に戻して下さい。その後画像Bの様に取り外した「レバーフィニッシュゴム」をはめて設定完了です。



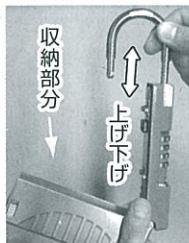
重要ポイント 暗証番号を設定して、可変レバーを左上に戻す際画像Cの様に「アイマークのライン」より番号がズレていますと、可変レバーが「左上で固定」されず、画像Dの様に緩い状態になりますので、暗証番号は、画像Eの様にシッカリ「アイマークのライン」に合わせて、可変レバーは「パチッ」と音がして固定した事をご確認の上、ご使用下さい。(画像は暗証番号を「1・2・3・4」に設定した例になります。)

7 暗証番号の設定動作確認

①暗証番号が正しくセット出来ているか確認する為、収納部分を開いた状態でシャックルを設定した番号で上げ下げ出来るか(解錠になっているか?)確認して下さい。

※フタを開けて作業するのは、暗証番号設定が万が一正しく行われていない場合に収納部分がロックされてしまわない様、注意する為です。

②次に収納部分を閉め、シャックルを押し下げてから、ダイヤルを回し、ロック状態であるか確認して下さい。その後、暗証番号を合わせ、ロックを解錠して下さい。



ご使用前には必ずこの説明書を全てお読みいただいた後、お取付・ご使用下さい。



II 他にはない4つの特長

新機構

①鍵の紛失を防止する為のフックが収納部内側に設置。(画像F)
※サイズによっては、取り付かないツリカン・金具もございます。

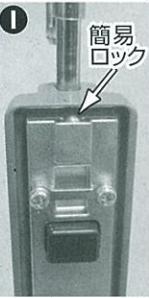
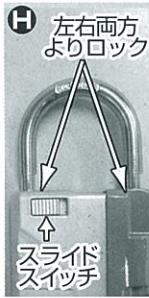
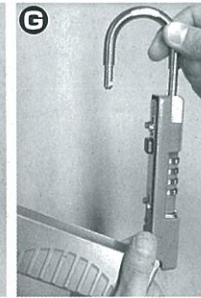
※フックに掛ける「ツリカンやヒモ」は付いておりません。ロックの際、ヒモが長いと収納部を閉める時に邪魔になる場合がありますのでご注意下さい。

②収納部分と本体ダイヤル部分が扇の様に開くので、収納口が広く物を入れやすい。(画像G)

③スライドスイッチ機能付なので、シャックルを左右両方よりロック、防犯効果がアップ。(画像H)

④ロックを解錠しても収納部分と本体ダイヤル部分とは「簡易ロック」で止まっているので、勝手に開かず収納物が落下したりするのを未然に防ぎます。(画像I)

※収納口が開いてしまっても、途中で止まる様にも設計されております。



III 使用方法 (鍵の収納)

シャックルが最後迄押し下がっているか確認した後、暗証番号を合わせてから、スライドスイッチを右に動かしてシャックルを引き上げます。

収納部分を開き、鍵等を収納保管後、フタをしてロックをします。

※解錠する時にダイヤルが回しにくい場合はシャックル(ツリ)を最後迄しっかりと押しこんでから操作して下さい。施錠した状態でスライドスイッチを動かさないで下さい。故障の原因となります。

※ご使用環境によっては、スライドスイッチの操作が固くなる場合がございます。

その場合はシャックル差し込み口に「注油」をして下さい。



重要ポイント

①ロック時、スライドスイッチをロックしない状態でダイヤルのみをロックし、ご使用頂いておりますと、ダイヤルが「回らない・回りにくい状態」になりますので、シッカリ「シャックルを押し込んで」スライドスイッチもロックされた状態でダイヤルを回すようにして下さい。

②家や車のリモコンキーの中で、「鍵の収納 BOX」の設置場所によっては、錠が感知して開錠してしまう恐れがございます。ご注意の上、開錠しない事を十分に確認して頂き設置場所を決めて下さい。

番号の保管を!

●新しく変更された暗証番号は下記スペースに油性マジック等で変更番号を記載しておくと管理に役立ちます。